

令和6年度 第1回 蒲原地区学校開校準備委員会を開催しました！

令和6年5月29日 午後7時～8時15分 蒲原生涯学習交流館

蒲原地区では、令和2年度から、地域主導の「蒲原地区学校統合準備委員会」を随時開催してきました。

今年度からは、「蒲原地区学校開校準備委員会」として、引き続き、自治会関係者や学校評議員、学校・こども園のPTA会長の皆さんなどが委員となり、学校や教育委員会とともに令和8年度の小中一貫校開校に向けて話し合っています。

【今回の議論の内容】

① 小中一貫教育の令和5年度の実施の報告と令和6年度の計画について

- ▶学校での令和5年度の実施の報告と令和6年度の計画について、前回の準備委員会の振り返りとして、再度報告しました。
- ▶令和6年度は、8年度の開校に向けて、より細かく具体的な計画の作成に取り掛かります。

小小交流

蒲原東小、蒲原西小の交流がさらに進み、交流が特別なことではなくなりつつあるとの報告がありました。



2年生生活科の授業での交流

小中交流

令和5年度の小学校と中学校の交流については、学年が限定される部分もあったので、令和6年度は、4・5・6年生と中学生との交流を計画しています。先生たちの交流研修も、年間7回実施し、9年間で子どもたちに付けたい力を共有しました。

② 「学校名(通称名)」や「校歌」検討のための分科会について

- ▶統合後の「学校名」「校歌」について、分科会メンバーやアンケートの案について提示しました。
- ▶今後、児童生徒や保護者、地域の皆様に、まずアンケートを実施し、分科会にて議論、意見集約を行っていきます。

	令和6年度			令和7年度
校名 (通称名)	アンケート(夏)	本選考 (秋～冬)	決定	
校歌	アンケート(夏)	校歌検討	校歌作成	完成

③ 通学支援について

- ▶児童の登下校について、「自主運行バス(由比・蒲原病院線)」を活用する案や、事業者へ外部委託を実施する案について説明がありました。
- ▶委員からは、通学支援対象となる距離などについてご意見がありました。
- ▶今後も引き続き、子どもたちが安全に通学できる手段を検討していきます。



今後の開校準備委員会
スケジュール

令和6年度第1回
5月開催

令和6年度第2回
10月開催予定

次回

令和6年度第3回
2月開催予定

令和6年度 第2回 蒲原地区学校開校準備委員会を開催しました！

令和6年10月21日 午後7時～8時30分 蒲原生涯学習交流館

蒲原地区では、令和2年度から、地域主導の「蒲原地区学校統合準備委員会（会長：服部連合自治会長）」を随時開催してきました。

今年度からは、「蒲原地区学校開校準備委員会（会長：服部連合自治会長）」として、引き続き、自治会関係者や学校評議員、学校・こども園のPTA会長の皆さんなどが委員となり、学校や教育委員会とともに令和8年度の小中一貫校開校に向けて話し合っています。

【今回の議論の内容】

① 新校舎建設工事の進捗状況について

▶新校舎建設に関する各種工事について、物価高騰等の影響で一旦入札不落になりましたが、再度入札の結果、10月に業者が決定しました。

➡11月から建設工事に着手していく予定です。



10月末で管理棟
解体工事が完了
しました。

② 校章作成の進め方(案)について

▶統合後の校章を作成するにあたり、進め方を検討しました。

▶委員からは、児童生徒や地域からデザイン案を募集することについて、ご意見がありました。

➡令和7年2月以降に、デザイン案を募集し(対象者は未定)、選定していく予定です。

現在の各学校の校章



蒲原中



蒲原東小



蒲原西小

③ 通学支援について

▶児童の登下校について、事業者へ外部委託を実施する案のほか、蒲原地区の特性を鑑み、JRの利用や中学生の自転車通学の可能性も視野に入れて検討していると説明がありました。

▶委員からは、通学支援対象となる距離や通学手段について、ご意見がありました。

➡今後も引き続き、子どもたちが安全に通学できる手段を検討していきます。

④ 制服について

▶統合後の制服について、PTAのアンケート結果について報告しました。

▶アンケートでは、「保護者の経済的負担が大きいので、今の中学の制服を継続してほしい」「小学生は成長するにつれ、買い直す必要が出てくる」等の意見を多くいただきました。

➡統合後も、中学生は今の制服を継続し、小学生は私服のままとする予定です。



今後の開校準備委員会
スケジュール

R6第1回
5月開催

R6第2回
10月開催

R6第3回
2月開催予定

次回

裏面あり

⑤ 学校名(通称名:日常的に使われる校名)と校歌について

▶統合後の学校名と校歌のアンケート結果を報告するとともに、各分科会で検討した結果を準備委員会で議論しました。

アンケートの全体概要

- 対象者：約10,470人(小4以上の児童生徒、保護者、教職員、未就学児の保護者、地域住民)
- 回答方法：Web、FAX、用紙にて回答
- 回答期間：令和6年7月10日(水)～9月6日(金)
- 回答者数：790人



学校名のアンケート結果

設問1「新しい学校の学校名についてどう思うか」

選択肢	回答数	回答者区分
「蒲原小中学校」	678	在校生154、保護者137、地域341、教職員19、その他17、未回答10
「新しい学校名」	111	在校生40、保護者26、地域45、教職員0、その他0

設問2「思い浮かぶ新しい学校名は何か」

学校名	ふりがな	回答数
蒲原東西小中学校	かんばらとうざいしょうちゅうがっこう	6
蒲原東西小中学校	かんばらとうせいしょうちゅうがっこう	5
蒲原吹上小中学校	かんばらふきあげしょうちゅうがっこう	4
蒲原学園	かんばらがくえん	3
蒲原学校	かんばらがっこう	3

(回答の多い学校順 ※回答数3件のものまで掲載)

設問3「学校名への思いや意味など(自由記載)」

- ▶「『蒲原小中学校』がシンプルでわかりやすい」
- ▶「新しい学校になるので名前も新しい方がいい」
- ▶「学校名には歴史ある蒲原の名前を残したい」

(抜粋して掲載)

※各設問において、複数の回答を選択していた場合は、それぞれを回答としてカウントしました。
そのため、各設問における回答数の合計は、回答者数790人とは一致していません。



これらアンケート結果をもとに、「学校名」「校歌」の分科会で検討しました。

蒲原中の校歌は、小学生には難しいのでは。



国語の授業で教えられないだろうか？

校歌のアンケート結果

設問1「校歌はどのように制作したいか」

選択肢	回答数	回答者区分
「全く新しい校歌を制作」	233	在校生43、保護者73、地域102、教職員12、その他3
「3校いずれかの校歌をもとに制作」	161	在校生81、保護者27、地域46、教職員2、その他2、未回答3
「蒲原中学校の校歌をそのまま使用」	402	在校生69、保護者63、地域243、教職員5、その他12、未回答10

- ▶「新しい学校なので心機一転新しい校歌がよい」
- ▶「3校それぞれ思いが詰まっているから」
- ▶「蒲原中の生徒が、伝統を引き継ぎ大切に歌い続けてきたから」

(抜粋して掲載)

設問2「3校いずれの校歌をもとに制作したいか」

選択肢	回答数	回答者区分
蒲原中	66	在校生19、保護者14、地域29、教職員1、その他2、未回答1
蒲原東小	38	在校生24、保護者10、地域3、未回答1
蒲原西小	48	在校生36、保護者4、地域7、未回答1

設問3「校歌に入れたい言葉や文章(自由記載)」

入れたい言葉や文章	件数
「富士」「富士山」「富士の山」「富士の嶺」	133
「駿河湾」「駿河の海」	118
「蒲原」	105

▶合計194種類の言葉や文章をいただきました。

(回答の多い言葉順 ※上位3位まで掲載)

開校準備委員会で決定しました。

●統合後の学校名
「**静岡市立蒲原小中学校**」

●統合後の校歌
蒲原中学校の校歌を使用

令和6年度 第3回 蒲原地区学校開校準備委員会を開催しました！

令和7年2月18日 午後7時～8時 蒲原生涯学習交流館

蒲原地区では、令和2年度から、「蒲原地区学校統合準備委員会（会長：服部連合自治会長）」を随時開催してきました。

令和6年度からは、「蒲原地区学校開校準備委員会（会長：服部連合自治会長）」として、引き続き、自治会関係者や学校評議員、学校・こども園のPTA会長の皆さんなどが委員となり、学校や教育委員会とともに令和8年度の小中一貫校開校に向けて話し合っています。

【今回の議論の内容】

① 令和6年度小中一貫教育の取組、令和7年度小中一貫教育の取組について

▶蒲原地区の小・中学校では、令和6年度の重点取組を「小中交流の確立」とし、中学2年生と小学4年生による「でこぼこ交流会」の実施や、合唱祭での交流など、小・中学生が交流する機会を充実させました。

▶そのほか、中学生が地域のイベントに出店し、地域と交流する様子も見られました。

▶教職員も統合に向けて準備を進めており、「蒲原を愛する子ども」の育成のために、あらためて教職員が蒲原地区の歴史について学ぶ機会を設けたほか、統合後の学校のランドデザインや日課表についても、検討を進めています。

▶委員からは、ランドデザインの内容（教育活動を行うための学年の区切り方）についてご意見がありました。

➡令和8年度の開校に向け、児童生徒の交流は引き続き実施するとともに、より具体的な計画の調整に入ります。



地域との交流(ちよっく楽市)



小中一貫研修会

② 校章の作成について

▶統合後の校章を作成するにあたり、前回の準備委員会で進め方を検討しました。

➡今回は、あらためて進め方を確認し、スケジュールは次のように決定しました。

R7	R8											
3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
児童生徒の案を各校から2～3案ずつ提出		検討 準備委員会 で	投票	※ブラッシュアップ (業者委託)		校章を活用し、校旗等を作成						

保護者や地域の皆さんにも投票いただく予定です。

あらためてお知らせしますので、ぜひご協力ください！

※ブラッシュアップ(業者委託)は、児童生徒のデザイン案を専門業者が形を整えたり、色合いを調整したりして仕上げる工程です。

③ 通学支援について

- ▶これまで本市では、通学支援の対象者を、中学生6km以上、小学生4km以上(学校統合により、2km以上通学距離が長くなった場合は3km以上)の距離を通う児童生徒としていましたが、令和7年4月からは、中学生4km以上、小学生2km以上に改正されます。
- ▶委員からは、「通学支援対象となる距離が短縮され、ありがたい」「統合後は、2km以上の児童生徒は必ずバスか電車に乗れるか」「子どもが電車を使うなら、対策を考えていただきたい」等のご意見がありました。
- ➡通学支援の対象となる児童生徒が増えることから、統合後の通学支援策は、教育委員会として引き続き検討し、来年度も準備委員会で協議していきます。

		要件等		令和6年度まで	令和7年4月以降
静岡市遠距離通学費補助金交付要綱改正(案)	通学定期券	小学生	補助対象	通学定期券(バスのみ)	通学定期券(バス・電車)
			距離要件	4km 以上 へき地・中山間地学校及び学校統合の場合は3km 以上	2km 以上
			補助金額	定期券代全額	定期券代全額
		中学生	補助対象	通学定期券(バスのみ)	通学定期券(バス・電車)
			距離要件	6km 以上	4km 以上
			補助金額	定期券代全額	定期券代全額
	通学用品	小学生	補助対象	通学用靴、雨具等	廃止
			距離要件	4km 以上 へき地・中山間地学校は3km 以上	
			補助金額	3,000 円/年	
中学生		補助対象	自転車、通学用靴、雨具等	通学用自転車の購入や自転車通学のために必要な経費 (雨合羽やメンテナンス費用など)	
		距離要件	4km 以上	4km 以上	
		補助金額	3,000 円/年(4km 以上) 4,000 円/年(6km 以上)	上限 10,000 円/年 3年間で最大 30,000 円	

改正後の通学支援対象地区
(想定)

* 地区全体が支援対象
蒲原神沢、蒲原堰沢、蒲原中、蒲原小金

* 地区の一部が支援対象
蒲原新田一丁目、蒲原新田二丁目、蒲原、蒲原三丁目、蒲原四丁目

④ その他スケジュール等について

- ▶その他の報告事項として、閉校後の跡地活用について、跡地活用の担当部署(総合政策局 社会共有資産利活用推進課)から報告がありました。
- ▶現在、民間事業者ヒアリングを行っており、今後、地域にアンケートを取り、その結果を踏まえて活用の方向性が検討されます。
- ▶委員からは、「他地区の学校でもこのような取り組みを行っているか」「どのように活用業者を決めるか」等のご意見がありました。
- ➡必要に応じ、今後も準備委員会で報告される予定です。



来年度の開校準備委員会スケジュール

第1回 令和7年5月頃(予定)

※年3~4回ほどを予定しています。